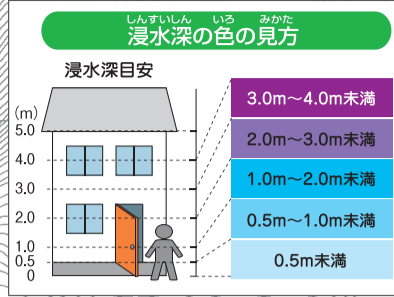


小柿(東)防災マップ

平成28年3月作成

【凡例】

- ✕ 土砂災害の危険箇所
 - ✕ 浸水害の危険箇所
 - 消 消火栓
 - 防火水槽
 - 緊急避難場所
- 土砂災害**
- 土砂災害警戒区域(土石流)
 - 土石流危険渓流
 - 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
 - 土砂災害警戒区域(地滑り)
 - 崩壊土砂流出危険地区
 - 崩壊土砂流出危険渓流
 - 地すべり危険箇所
 - 山腹崩壊危険地区
(※)はその他準用地を示す
 - 浸水実績(平成16年台風23号)



緊急避難場所

我が家の緊急避難場所

我が家の避難のタイミング

緊急連絡先

連絡先	電話番号

避難の方法

避難所へ避難する場合

- 1 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 2 川沿いや橋、がけ下などは危険ですので、近くを通らないでください。
- 3 動きやすい服装で、二人以上で避難しましょう。
- 4 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れずに。電気のブレーカーも落としましょう。

屋内で避難する場合

- 水害の場合
周りで浸水が始まった時は近くの高所や建物の2階以上に避難しましょう。
 - 土砂災害の場合
家の中で2階のかけ、山から離れた部屋に避難する、または寝室とする。
- ポイント**
夜間、浸水が始まった時の避難は、足元が見えず危険
- ポイント**
土砂災害の犠牲者の多くは1階で被災

避難情報が発令された場合の行動

〈行動の種類〉	〈行動方法〉
避難準備情報	情報の収集、持ち出し物の準備、避難場所の確認をするなど、避難の準備をしましょう。お年寄り、体の不自由な方など避難に時間を要する方は避難を開始してください。
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状態です。指定された避難場所が屋内の安全な場所へ避難してください。
避難指示	ただちに指定された避難場所が屋内の安全な場所へ避難してください。避難する余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をとってください。

平成21年台風9号の際に激しい降雨と浸水の中での避難中の被災事例から、状況に応じて、小・中学校等の避難所への避難だけでなく、屋内での垂直避難も有効であります。

